



進尽役
立花 智昭 さん
29歳=土淵町=

支えられて演じ切った

自分とは真逆の性格を持つ主役を任されたときは、演じられるか不安でした。周りの人に支えてもらい、何とか最後までやり遂げられました。来年も、挑戦してみたいと思います。



原案・定吉役
菊池 定邦 さん
76歳=松崎町=

感動して涙が止まらない

今から800年前の古い話。うまく綴れるか心配だったが、脚本をきれいにまとめてもらいキャストの熱い心で演じてもらったので、いい舞台になった。感動して涙が止まりません。



脚本
高橋 麻己子 さん
=軽町=

今までよりも斬新な舞台

郷土芸能とバレエを役柄として舞台に盛り込むなど斬新なファンタジーにできたと思います。遠野の物語を、ファンタジーに参加することで後世につないでいきたいです。



演出
小林 立栄 さん
41歳=六日町=

みんなで作るファンタジー

舞台のフィナーレを無事に迎えられてほっとしました。ファンタジーは出演した人だけでなく、見に来てくれた人と作るもの。今後もみんなでファンタジーを盛り上げていきたいです。



5_あまりの道楽ぶりに、お稲荷様が進尽を懲らしめる 6・7_進尽の軽率な行いが女神様の怒りに触れ、鹿の大群が山で暴れまわる。利助が巻き込まれたと聞いて、進尽は己の行いを深く反省した 8_東禅寺しし踊りが特別出演。舞台音楽に合わせて舞を披露する初の試み 9_女神様の使者から修行に励むよう告げられ、進尽は一人前の僧侶となるべく精進することを誓った 10_細かなメイクから大がかりな舞台装置まで、裏方の活躍が公演成功につながった 11_ファンタジーに臨場感を生んだミュージックアンサンブルの生演奏 12_公演前に円陣を組むキャスト陣。心を一つに舞台を作った

【あらすじ】

東禅寺の修行僧「進尽」は、夜な夜な寺を抜け出し、忍峠を越えて町へ遊びに出かけてばかりいる酒飲みの道楽者。そんな進尽の未知なる力に気づいた親友の利助は、進尽に修行するよう勧める。しかし進尽は軽率な行いを繰り返す、ついに早池峰の女神様の怒りに触れてしまう。女神様の怒りを鎮めるため、修行の末、進尽は女神様に認められ一人前の僧侶として旅立った。



第42回市民の舞台遠野物語ファンタジー
ダイジェスト

目覚めよ！進尽

いま 未だ忍峠

第42回遠野物語ファンタジー「目覚めよ！進尽～未だ忍峠～」は2月25・26の両日、市民センター大ホールで上演されました。遠野の物語を現代に伝えるため、市民360人が心を一つに感動の舞台を作り上げました。



1_個性豊かなキャストが物語の世界へと引き込む
2_親友の利助と進尽の掛け合いが観客の笑いを誘った
3_いつもと違う進尽の様子に村人たちが心配して声をかける
4_お師匠様から説教を受けるがまったく反省しない進尽

今回は、昨年4月から1年にわたり行われてきた市民センターリニューアルオープン記念事業のフィナーレとして開催。キャスト・スタッフ総勢360人が心を一つに舞台づくりに挑戦しました。

物語は、東禅寺(附馬牛町)の若い修行僧・進尽が主人公。修行僧であるにもかかわらず酒飲みの道楽者で、周囲から呆れられていた進尽が、友情を通して経験を積み、成長していく姿が描かれました。

2幕15場の舞台では、キャストが遠野のなまりを効かせた演技で観客を引き込み、ファンタジーミュージックアンサンブルの生演奏と裏方の活躍が舞台を彩りました。フィナーレではファンタジーの歌を全員で合唱。会場は感動に包まれました。

